

第7号様式（第11条）

相互提案協働事業 報告書

23年5月25日

(あて先) 鎌倉市長

住所 [REDACTED]
郵便番号 [REDACTED]
団体名 公益財団法人鎌倉風致保存会
代表者氏名 [REDACTED] [REDACTED]

平成22年度事業報告会に先立ち、協働事業の実施状況・実施結果について、下記のとおり報告します。

事業名	ハイキングコースパトロール事業
事業概要	三か所のハイキングコース（天園、葛原岡・大仏坂、祇園山）を各々月1回以上パトロールする。コース状況を確認し、危険個所については注意テープを貼り付け、ハイカーに注意喚起するとともに観光課へ状況報告をする。
市担当課	市民経済部観光課
事業実施期間 (継続中の事業については、継続に○をつける)	開始 平成22年4月 1日 ~ 継続 終了 平成23年3月31日
協動の形態	鎌倉風致保存会会員がハイキングコースをパトロールし、倒木・崖崩れ等危険個所を写真にとり、観光課へ報告する。報告を受けた観光課は、すみやかに適切な措置を講じる。
事業費	200,000円



<p>事業目的の達成 (継続中の事業については、現時点で判断する)</p>	<p><達成できた点></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 倒木、落石等危険個所に危険表示テープを貼り、ハイカーに注意喚起している。 ○ 危険個所については写真をとり、速やかに観光課に報告している。 ○ 観光課では報告を受け、業者に委託し危険個所の改善を行った。 <p><達成できなかった点></p>
<p>成果・効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一つのコースにつき毎回5~8人でパトロールを実施しているので、危険個所や整備必要個所については、見落としがない。また、コースをふさぐ倒木等の処理もパトロール中に行えた。
<p>課題・問題点 (解決・改善の方法についても記入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ パトロールにより発見した倒木・落石等の危険個所は市に報告している。その後の処理方針が伝わるのに時間がかかった。 ○ 他の独自に活動しているグループがあるが、調整と連携の必要がある。
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハイキングコース内には民有地が多く、危険木の伐採が速やかにできない。危険木等の処理については所有者から事前の包括同意を得られるようすべきである。

添付資料

- ・事業結果報告書
- ・収支決算書

平成22年度 ハイキングコース・パトロール事業

收支決算書

項目	金額(単位:円)
1 収入の部	
市負担金	200,000
収入合計	200,000
2 支出の部	
① 交通費(1人1回 @700円)	
4月～3月延べ224人	156,800
② ボランティア保険(@550×25名)	13,750
③ 背負子(2台購入金額の一部)	24,950
④ 通信費(葉書代)	4,500
支出合計	200,000
収支差額	0

公益財団法人鎌倉風致保存会